

2026年7月1日

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

広報・PR活動の最高峰を選出する「PRアワード 2026」

2026年度の審査団 10名を決定

8月20日(木)からエントリー受付開始

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（所在地：東京都港区、理事長：山口恭正、略称：PRsj）は、「PRアワード 2026」を開催するにあたり、2026年度の審査団を発表いたします。

審査委員長には昨年に引き続き田上智子氏（株式会社シナジア）が就任し、審査団全10名はパブリックリレーションズのプロフェッショナルの方々に加え、学識経験者やジャーナリストの方々で構成しています。多彩なエントリーに対し多角的な視点で評価を行うことにより、広報・PR活動の最高峰を選出するアワードの実現を目指します。

なお、「PRアワード」は、一般企業・団体の広報部門やPR会社の施策に留まらず、社会との共創を通じてビジネスと世の中を動かした Public Relations の実践事例を広く募集し、審査を通して日本を代表する優秀な活動を表彰・公開するものです。日本のコミュニケーション技術の更なる質的向上と、人材の育成に資するとともに、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進を目的としています。

前身となる「PR活動顕彰」は1961年に始まり、2001年に「PRアワードグランプリ」としてスタートしてから昨年25年目を迎え「PRアワード」と改称しました。

なお、8月6日（木）19時からエントリーシート書き方説明会（仮）の実施を予定しております。

詳しくは次頁をご確認ください。

審査団（敬称略、50音順）

■審査委員長（敬称略）



田上 智子 株式会社シナジア 代表取締役

<経歴>

P&G 日本法人に入社、日本・シンガポールオフィスにて、ブランドマーケティング、ブランド PR、企業広報を担当。その後、(株) 刀での経営コンサルティング経験を経て、(株) 資生堂 チーフコーポレートコミュニケーションオフィサーに就任。

24年9月 社会発想で事業成長をもたらすマーケティングコンサルティング会社、(株) シナジアを創業。

スパイクスアジア 2026 PR 部門 審査委員長

カンヌライオンズ 2024 PR 部門 日本代表審査員

2026年 ACC マーケティングエフェクティブネス部門審査員

2025年 PR アワード 審査委員長

2019～21、24年～ PR アワード 審査委員

審査委員長 コメント

昨年に続き、審査委員長を拝命いたしました。

PR アワードは、社会と誠実に向き合い、共感と行動を生む取り組みを顕彰してきました。情報があふれ、何を信じるかが問われるいま、PR が果たす役割はますます大きくなっています。

パブリックリレーションズとは、企業活動の一部ではなく、社会と企業の関係性そのものをつくる力です。対話を通じて共感を広げ、社会を動かし、確かな成果へとつなげる。それこそがビジネスと社会の未来を切り拓くと私は信じています。このアワードを通じて、その真価を体現した事例に光を当てていきたいと思えます。

審査団一同、創造性と戦略性を兼ね備えた PR 活動に出会えることを心から楽しみにしています。

■審査委員(9名)（敬称略／氏名 50音順）



阿久澤 真木 株式会社プラップジャパン
戦略企画部 Planning Director



岩崎 真之介 株式会社サニーサイドアップ
パブリックリレーションズ事業本部 執行役員



植野 友生 味の素株式会社
食品事業本部 マーケティングデザインセンターコミュニケーションデザイン部
コミュニケーション戦略グループ PR チーム長



尾上 玲円奈 株式会社マテリアル 取締役



木村 友輔 株式会社博報堂
PR 局 PR プラニング 1 部 部長 チーフ PR ディレクター



国枝 智樹 上智大学
文学部新聞学科 ・ 准教授



竹下 隆一郎 株式会社 TBS テレビ
特任執行役員 Cross Dig with Bloomberg
チーフコンテンツオフィサー



南部 かおり シック・ジャパン株式会社
マーケティング本部 コミュニケーション部長



橋本 良輔 株式会社電通 PR コンサルティング
統合コミュニケーション局 次長

PR アワード 2026 応募概要

※一部予定含みます。決定次第再度ご案内いたします。

◇ エントリー条件

企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動に留まらず、社会との共創を通じてビジネスと世の中を動かしたパブリックリレーションズの実践事例であること。

活動開始時期に関わらず直近1年間に成果があがったもの。

※現在継続している活動を含む

※過去にエントリーした案件も、上記条件に当てはまれば再度エントリー可

※事業主体および関係団体より、応募の許可や著作物などの資料使用の許諾を事前に得ていることが前提条件となります

◇ スケジュール

- エントリーシート公開 : 2026年8月1日(土)
- エントリーシート書き方説明会(仮) : 2026年8月6日(木) 19:00~(オンライン配信有、無料)
- 募集開始 : 2026年8月20日(木)
- 早期エントリー締切 : 2026年9月15日(火) 中に受付記録があるもの
- 最終エントリー締切 : 2026年10月13日(火) 17:00 必着
- 審査 : 一次審査会 : 2026年11月11日(水) 10:00~13:00
最終審査会 : 2026年12月1日(火) 14:00~20:00
- 表彰式 : 2026年12月15日(火) 16:30~20:00 予定

<エントリーシート書き方説明会(仮)について>

本説明会では、エントリーシート作成のポイントや具体的な記述方法について解説します。概要は以下の通りです。

なお、参加申込の受付は近日中に開始予定です。

日時 : 2026年8月6日(木) 19:00~20:30

会場 : TEPIA (東京メトロ銀座線「外苑前駅」より徒歩約4分)

実施方法 : 会場開催、オンライン配信および後日アーカイブ配信を予定

参加対象 : どなたでもご参加いただけます

参加費 : 無料

◇ エントリー方法

- ① PRSJ ウェブサイト「PR アワード 2026」(8月1日オープン) からエントリーシートをダウンロードし、ご記入ください。
- ② エントリーフォーム(8月20日受付開始) に必要事項を入力しエントリーシートを添付後、登録を完了してください。
※自動返信の確認メールが届かない場合、受付が正常に完了していない可能性がありますので、事務局までお問い合わせください。
- ③ 全てのエントリー締め切り後に、エントリー料の請求書を送付いたします。
2026年11月30日(月)までにお振込みをお願いします。

◇ エントリー料

早期エントリー : 12,000円(税込) / 1件(振込手数料別途)

最終エントリー : 25,000円(税込) / 1件(振込手数料別途)

◇ 審査方法

詳細検討中のため、決定次第ご案内いたします。

添付資料 1

「PRアワード」前年度受賞一覧（会社名は当時）

※2024年以前の受賞エントリーについては下記 URL からご覧いただけます。

<https://prs.j.or.jp/case-study-search/>

2025 年度

【グランプリ】

◇PR パーソンの未来予測を、災害対応に応用『能登半島地震 命を守る災害対応リアルタイム広報』

事業主体：石川県

エントリー会社：株式会社博報堂／株式会社北陸博報堂／

株式会社博報堂プロダクツ／株式会社オズマピーアール／株式会社レオン

【ゴールド】

◇人気スポット消失の危機を、笑いによる合意形成で地域を巻き込む物語に道頓堀 金龍のしっぽプロジェクト

事業主体：金龍製麺株式会社

エントリー会社：株式会社博報堂/株式会社オズマピーアール

【シルバー】

◇中小企業の“賃上げ”の閉そく感を打破!福利厚生を活用した新たな賃上げ手法「第3の賃上げ」

事業主体：株式会社エデンレッドジャパン

エントリー会社：株式会社エデンレッドジャパン/KMCgroup 株式会社

◇物件探しを強化したいけど、お金も社内人的リソースが足りない…そうだ!

お客様に地元の物件を探してもらおう!「バーガーキングを増やそう」キャンペーン

事業主体：BURGER KING JAPAN(ビーケー・ジャパンホールディングス)

エントリー会社：ザ・プロデュース合同会社/株式会社 DE/株式会社 アンティル/株式会社 sfrth

◇「助けたいから買う」 — 貢献意欲を引き出し、食品ロスの削減につなげたファミマの『涙目シール』

事業主体：株式会社ファミリーマート

エントリー会社：The Breakthrough Company G0

◇人生 100 年時代をどう生きるか 介護施設のシニア 1 万人と紡ぐ「Be サポーターズ!」の幸せな物語

事業主体：サントリーウエルネス株式会社

エントリー会社：サントリーウエルネス株式会社

【ブロンズ】

◇人がいないなら呼んでこよう!

市民の「手伝って」を伝えるプラットフォーム“ヒダスケ!”で年間 1,500 人の担い手を確保

事業主体：岐阜県飛騨市

エントリー会社：岐阜県飛騨市

◇第三者推奨を起点とした従業員エンゲージメント向上プロジェクト 「おかんパン」

事業主体：株式会社ダイヤ

エントリー会社：株式会社ダイヤ/株式会社はずむ

◇業界の垣根を超えた難病支援プロジェクト「I know IBD」

事業主体：アッヴィ合同会社

エントリー会社：株式会社プラップジャパン

◇回転レーンで世界つなぐー70 カ国の料理が巡る、「回転すし、魅力最・再訴求」万博プロジェクト

事業主体：くら寿司株式会社

エントリー会社：株式会社電通 PR コンサルティング

【審査委員特別賞】

◇能登半島地震の被災地で生まれたカプセルトイ 珠洲市立大谷小中学校 児童生徒 発案 “OHTANI CHARM”

事業主体：珠洲市立大谷小中学校

エントリー会社：青山きえ/小川琴子/松谷桜/株式会社アドビジョン銀座/一般社団法人 2025PROJECT

添付資料 2

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（略称：PRSJ）は、日本PR協会（1964年結成）と日本PR業協会（1974年設立）が1980年に合併統合され、時代に即したPRの在り方の探求とPRの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般の企業・団体の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに有識者などの個人会員を含む約700名で組織されているパブリックリレーションズ（PR）のプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益社団法人の認定を受けました。

主な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、メールマガジン「協会ニュース『Relations』」や「広報のミカタ（旧PR手帳）」などの配信・出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワード」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」、広く社会や地域の発展に寄与した人物・団体を表彰する「日本PR大賞PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じてパブリックリレーションズの普及と啓発、広報・PRスキルの向上、倫理の徹底を推進しています。

2007年には、PRプロフェッショナルとしての知識やスキル、職能意識を認定する「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外の広報・PRパーソンや、広報・PRに興味を持つ学生など、幅広い人々に「PRプランナー」などの資格を付与しています。

2009年10月、時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、実務能力の向上を目的とした「広報PRアカデミー」（現在は「パブリックリレーションズ実務講座」）を新たに開講いたしました。

また2018年10月、PRプランナー試験に対応した公式テキストを全面改訂し、『広報・PR概説（1次試験対応テキスト）』と、『広報・PR実践（2次・3次試験対応テキスト）』を、2019年6月には『広報・PR資格試験参考問題集』を出版し、毎年改訂版を発刊しています。

2019年6月、パブリックリレーションズ活動の指針を定めた「PR活動ガイドライン」を策定いたしました。PRの仕事に携わるすべての関係者に向けて、PR活動のあるべき姿を提示するとともに、高い倫理観の下でPR活動の社会的責任を強く自覚することを求めています。

当協会はこれらの活動を通じて、広報・PRの啓発と普及、発展に努めています。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F
TEL : 03-5413-6760 FAX : 03-5413-2147